HACHINOHE GAKUIN

CAMPUS八戸学院

vol.51

美保野キャンパス
人工芝グラウンド２面整備

国際教育の実践
光星高校・野辺地西高校CNE1語学研修

英語意識改革のススメ

学校法人光星学院

八戸学院美保野キャンパス

人工芝グラウンド２面着工

１月より本格的工事が始まり７月完成予定。完成後は、大学・高校のサッカー部とラグビー部を中心に法人各施設の行事での使用を予定しています。

各種大会の開催など地域のスポーツ振興への寄与を目指します。

面積　21,000 平方メートル　照明設備設置予定

ロングパイル人工芝

見た目や素材が天然芝に限りなく近い「ロングパイル人工芝」を使用。サッカー、野球、ラグビーなどのスポーツ競技場で幅広く利用されています。ゴムチップや特殊な砂などが埋め込まれていて芝のクッション性が高く、ひざや腰への負担が軽減されるのが特徴です。また、ラグビーや野球などのスライディングするスポーツでも、摩擦ややけどを起こしにくく、けがの防止に役立ちます。

CONTENTS

3　八戸学院美保野キャンパス
人工芝グラウンド２面整備着工

4　国際教育の実践
～ CNE1（フィリピン）語学研修～

6　「試験英語」から「コミュニケーション英語」へ
英語意識改革のススメ

8　夢の舞台　東京ドームのマウンドへ

9　八戸学院大学女子ラグビー部「モナリザ賞」受賞

10　八戸学院 TOPICS

12　ステラが行く

14　図書空間
展示のチカラ

16　理事長散策
入国管理法に思う

18　イノベーションプログラム（基金）報告

八学大スピードスケート部
全日本学生スピードスケート選手権大会２連覇達成！

澤尻磨里英さん

澤尻磨里英（３年）さんが第 38 回全日本学生スピードスケート選手権で総合優勝を果たし、昨年の総合優勝に続き大会２連覇を達成しました。

第 74 回国民体育大会スケート競技会

成年女子 3000ｍ２位　澤尻磨里英（３年）さん
成年女子 2000ｍリレー５位入賞
鬼頭琴音（３年）さん、大岩未奈美（１年）さん
杉浦美咲（１年）さん、前中香澄（１年）さん

CAMPUS
八戸学院

vol.51

表紙
今シーズン一番の冷え込み－８℃を記録した美保野キャンパス

建学の精神
「神を敬し、人を愛する」
カトリックの精神に則る道徳教育を施し、高尚なる人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。（寄附行為 第３条）

●八戸学院大学
TEL 0178-25-2711

●八戸学院大学短期大学部
TEL 0178-25-4411

●八戸学院地域連携研究センター
TEL 0178-25-2789

●八戸学院図書館
TEL 0178-30-1695

●八戸学院光星高等学校
TEL 0178-33-4151

●八戸学院光星高等学校専攻科
TEL 0178-25-6322

●八戸学院野辺地西高等学校
TEL 0175-64-4166

●八戸学院幼稚園
TEL 0178-34-5765

●八戸学院聖アンナ幼稚園
TEL 0178-45-3670

●八戸学院第二しののめ幼稚園
TEL 0178-25-2488

http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/

光星高校（第1班 11/17 ～ 11/23、第2班 1/5 ～ 1/14）

フィリピンは、時差一時間。気候も日本の一月とは正反対なので、健康な生徒でも適応するには多少の体調変化はあり得ることを想定し十分な事前指導を行い出発しました。

現地での生徒達は、まるで小さな子供に戻ったかのようにキラキラした顔で毎日のハードスケジュールに向上心を持ち取り組んでいました。CNE1の日常生活では、全て英語で話すことが当たり前になり、レッスンの成果が顕著に現れました。休憩時間を使って自学自習する様子やCNE1スタッフと積極的にコミュニケーションをとる様子は、学びたい気持ちを引き出してくれるこの環境と、スタッフのあたたかい対応のお陰だと感じました。地元小学校との交流会やSMモールでは、フィリピンの文化に触れ戸惑いながらも積極的に活動。ローカル市場では、日本とは異なる食文化を目の当たりにしました。

この10日間で生徒達は「当たり前のことへの感謝」「理解とは、見る・知る・感じる・考える・行動すること」「伝える・伝わるコミュニケーション」を学びました。CNE1での海外体験は、英語を話せるばかりではなく、グローバルな視野を持ち、自身の価値観や生き方にまで大きく影響を与えてくれた貴重な体験になったと思います。

最終日、空港へ向かう車内では、名残惜しい気持ちと同時に、再チャレンジしたいという気持ちを膨らませた生徒達を見て、光星高校から世界への小さな一歩ですが、確実な一歩を踏み出したと確信しています。

このプログラムを通してたくさんの事を学びました。私自身キャリアアップする機会に恵まれたと感謝しています。

光星高校　養護教諭　助川　美千子

CNE1スケジュール

7:00	朝食
8:00	1on1レッスン
10:00	グループレッスン
12:00	昼食
13:00	休憩・自由時間
15:00	フリークラス
16:00	1on1レッスン
18:00	夕食
	翌日の準備・予習
21:30	点呼
23:00	消灯

伝える・伝わるコミュニケーションを

ローカルマーケットで

2年C組　FOX　真島　新菜

フィリピンに到着して5日目、現地の郷土料理を作るため、ローカルマーケットに行き、各班で決められた材料を購入しました。

マーケットはとても賑わっていて、衣料品や日用品、肉や魚、野菜がたくさんあり、とても広く、迷いそうでしたが、現地の人やお店の人に英語で質問をし、なんとか購入できました。残った時間でTシャツやサンダルなどを購入する人もいました。

Tシャツは、100から200ペソくらいで購入でき、さらに半額以上値切ったり、とても楽しく過ごすことができました。

多くを学んだ1週間

2年B組　堀合　遥希

最初はすごく不安でしたが、スタッフの方々が快く迎え入れて下さり、すぐに不安がなくなりました。

先生方は、マンツーマンでの授業やグループ活動の時など、とても優しく、困っているときにはヒントをくれ、私たちに積極的に英語を話すように教えて下さいました。

貧困地域では、子供たちは日本と全く違う生活をしていてすごく驚かされましたが、チャリティー活動では、笑顔で話を聞いてくれ、楽しそうに過ごす姿は、貧しくてもその中にある幸せを感じることができました。

私たちはこの1週間でたくさんのことを学びました。今回の研修で学んだことをこれからの学校生活や将来につなげていきたいです。

チャリティー活動を通して

2年A組　渋田　ひとみ

CNE1滞在中、私たちは現地の貧困地域にある小学校へ出向いてチャリティー活動を行いました。第1班は、グループに分かれて、「ごみの分別のしかた」を教え、第2班は「折り紙の折り方」を教えました。

小学校へ行く前は「英語が通じるかな」と不安な気持ちでいっぱいでしたが、身振り手振りを使って、子どもたちと一緒にチキンダンスを踊ったり、写真を撮ったり、子どもたちはとても陽気で人懐っこく、とても楽しく過ごすことができました。

野辺地西高校（1/27 ～ 2/3）

「試験英語」から「コミュニケーション英語」へ

英語意識改革のススメ

八戸学院大学
地域経営学部　教授
バリー・グロスマン

ニューヨークブルックリン出身
バーミンガム大学(博士号)
1991年に来日、1998年から八戸大学
(現:八戸学院大学)に勤務

日本への憧れ

高校生の時に読んだ本がきっかけで日本に興味をもったんだ。友達と将来は、日本でお坊さんになって山寺で修行しようって話てたね。それ以降、日本で働くことが目標になり、大学院の2年間で日本語を猛勉強しました。ルームメイトの日本人に色々教えてもらいました。

大学院の卒業式の朝に東京の大学からオファーがあって、日本行きが決まったんだ、25歳の時だね。お坊さんではなかったけど（笑）夢がかなってうれしかったよ。

外国人が安心出来る街づくりを

八戸に来た頃は、英語標記の看板もなくて、この店は何が買えるのか、何が食べられるのかまったく分からなかった。当時に比べたら良くなったけど、八戸を初めて訪れる外国人からは見たらまだ不親切かな。そんな、三八地域で暮らす外国出身者や旅行客の手助けになればと思い、僕のゼミで外国人向けアプリ「Ｈａｃｈｉｎｏｈｅ Ｉｎｆｏ」を開発、２０１４年に配信を開始したんだ。アプリには、八戸周辺の情報が、買い物、食事、病院、宿泊などのカテゴリーごとに英語で調べられるようになっていて、利用した外国人の感想を基にゼミの学生が情報の追加や変更を行っているよ。

２０１７年に青森が外国人延べ宿泊者数東北1位になったけど、外国人が安心して来ることのできる街作りを目指さないと来てくれなくなるよ。英語標記の案内看板のほかに主要箇所を結ぶフリーシャトルバスを運行して、英語でアナウンスしたら良いかもね。あと、本八戸駅から中心街に伸びる坂をサンフランシスコみたいにケーブルカーで繋ぐのはどうかな。観光名所にもなるしね（笑）

サンフランシスコのケーブルカー

日本へ興味を持つ
きっかけとなった書籍
「ZEN AND THE ART OF MOTORCYCLE MAINTENANCE」

「コミュニケーション英語」への転換

日本の教育現場では、学生達が生きた英語に触れる機会がまだまだ少ないね。外国人は、生きていく手段として外国語を必死に学ぶけど、日本人は、外国語の必要性を感じていないから中学校、高校で英語を学んでも中々身につかないんじゃないかな。実際、アジア諸国と比べると日本は英語のレベルが低いんだ。これは、日本が英文法中心の「試験英語」ばかり勉強しているから。試験では良い点を取れるかもしれないけど生きた英語は身につかない。いま、小学校でも英語の授業を取り入れ始めているけど今のままでは何も変らないと思うよ。八戸学院大学に入学してくる学生の中にも「英語は難しい・苦手」とブロックする学生が沢山います。「試験英語」で凝り固まった英語に対する苦手意識を払拭して「コミュニケーション英語」へ転換することが必要だね。八戸学院大学では、生きた英語に触れる機会を設けています。

僕の英語のオススメ勉強法は映画を観ること。最初は、字幕なしで映画を観て言葉や音など耳で内容を想像する。次に英語の字幕で映画を観て、目で字幕の単語や文章から情報を得ると同時に、最初の耳で想像した内容とマッチングする。最後に日本語の字幕で映画を観て答えを確かめる。他に楽しみながら英語は学ぶ方法はたくさんあるよ。

世界を体験する

バリー先生のゼミ（グローバル英語ゼミ）では、2年次に1ヶ月以上のＣＮＥ１（フィリピン）での語学留学を義務付けています。様々な国の人が集まるＣＮＥ１で世界を体験することで、その後の英語に対する考え方や取り組み方がが大きく変わることでしょう。

CNE1（フィリピン）の授業風景

オンライン教材で生きた英語を

平成31年度の講義からオンライン教材による授業を予定しています。動画を使用したリスニングや自分の発音がチックできるリーディングなど、学生はスマホやパソコン、タブレットで好きな時間に教材を開いて勉強することが可能です。達成率などを数値で見ることができ、ゲーム感覚で楽しみながら英語を学ぶことができます。

言語は言語、人は人

時々、卒業生が大学を訪ねてくるんだけど、みんな大学時代にもっと英語を勉強しておけば良かったと言うね。学生は、まだ、日常生活の中で英語の必要性を感じてないかもしれないけど、ここ八戸でも国際社会は始まっていて、近い将来、仕事も商業・工業・農業・漁業あらゆる分野で外国人と一緒に働く時代が必ずやってくるよ。学生たちには、単語で良いから言葉を発して気持ちを伝えることが大切だと教えたいね。「日本語・英語」「日本人・外国人」ではなく、「言葉は言葉」「人は人」というようにボーダーラインを引かない考え方を身につけてほしいね。

ゼミナール活動風景

夢の舞台 東京ドームのマウンドへ

巨人ドラフト１位指名
八戸学院大学
高橋 優貴

今年からプロ野球選手として、いつもとは違うスタートを切ります。これまで学生で野球をしていましたが、これからは野球というスポーツが職業になります。

まずは、当たり前ですが、野球選手はカラダが命の為怪我をしないカラダ作りをしていきたいと思っています。長くプロ野球選手でいるためには、怪我をせずにプレーをすることが第一条件だと思うのでカラダ作りを一番に行っていきたいと考えています。また、早く一軍に上がって東京ドームのマウンドに立つことです。ジャイアンツの本拠地である東京ドームのマウンドに早く上がって活躍する姿を見せたいと思います。

こうやってジャイアンツのユニフォームに袖を通すことが出来たのも自分だけの力では叶わなかったことだと思います。いろんな人がいて協力してくれたと思うので、感謝の気持ちを忘れずに、また感謝の気持ちを力に変えて恩返しできるように頑張りたいと思います。

また、人間としても成長したいと思っているので社会人の一員としてマナーや態度、姿勢などにも気を配って人に見られていると思って行動していきたいと思います。八戸学院大学の代表として恥じない行動をして1年間活躍できるようにしたいと思います。

4年間大学では沢山の方々にお世話になりました。これからもご声援を宜しくお願いいたします。

八戸学院出身プロ野球選手とふれあう会開催！［八戸学院室内練習場　12/9］

青山浩二投手（楽天）、田代将太郎外野手（ヤクルト）、高橋優貴（巨人）

市内の小学生 80 名が参加

ランニングと準備運動を行った後、グループに分かれ守備・打撃練習が行われました。プロからの「送球の時は投げる相手を思って丁寧に投げて」など丁寧なアドバイスに、小学生は熱心に耳を傾けていました。

練習後には、選手のサイン入りグッズが当たる抽選会や写真撮影も行われ、会場は大いに盛り上がりました。

サイン入りグッズを渡す青山投手と田代外野手

八戸学院大学女子ラグビー部【世界健康フォーラム・モナリザ賞】を受賞

左から田端さん、家森理事長、山田さん、栗谷川フードコーチ、工藤監督

太子食品と八学大女子ラグビー部の連携協定調印式

太子食品の女子アスリートに与える健康効果

女性アスリートが過度なトレーニングをすることにより、利用可能エネルギー不足から運動性無月経を招き、女性ホルモンであるエストロゲンの低下により骨密度が低下し、女性アスリートの三主徴があるアスリートでは疲労骨折のリスクが高まることが数多く報告されています。また、大豆食品を日常的に摂取することで大豆イソフラボンの恩恵を受けられることもあきらかとなってきています。私たちは大豆食品の常食により三主徴の予防や、筋肉量の増加、体脂肪率の低下などの効果に繋がることができるということを検証し、世の女性アスリートに大豆食品摂取の大切さを伝えていきたいと思います。

健康医療学部2年　田端ひかる

研究は、今後一年かけて検証し、来年度、特定非営利活動法人世界健康フロンティア研究会フォーラムで研究成果を発表する予定です。

東北女子サッカーリーグ初代女王・４年連続インカレ出場

１人１人が主役のサッカーを

八学大女子サッカー部は、今シーズン「インカレ1勝！1人1人が主役のサッカー！」をチーム目標に掲げ、「組織作り」に取り組んできました。試合分析、スケジュール管理、ジュニアサッカースクール、SNS、NIEなど、学生生活からサッカーまで役割を1人ずつ分担し責任を待たせ2週間に1回のミーティングでPDCAサイクルを回しました。学生として当たり前のことは当たり前に行う。畑中監督が掲げる「社会の即戦力となる人材」に少しは近づけたのではないかと思います。

今年度から始まった東北女子サッカーリーグでは、創部から5年間1度も勝てなかった東北チャンピオンの仙台大学に、決勝戦で勝利し、初代女王になることができました。格上ということもあり苦しい試合でしたが、チームがひとつになり最後まであきらめず全員で声をかけあい戦えた試合でした。私たちのサッカーに懸けてきた「覚悟」が相手の技術、戦術を超越し目には見えない不思議な力が試合終了間際の同点ゴールに繋がったと思います。

インカレでは、追手門学院大学と対戦し結果2－3で一回戦敗退でした。ライン際での寄せの速さ、ゴールへ向かう気持ちが相手の方が上だったのかなと感じました。結果は負けてしまいましたが、4年連続インカレに出場した中で1番の手応えのある試合でした。

来シーズンは選手層も厚くなるので、今年よりもさらに良いチームになり必ず歴史を変えてくれると思います！この大学に入学し貴重な経験と多くの気づきがあり本当に良かったです。応援ありがとうございました。

八学大女子サッカー部
主将　成田　愛

光星高　硬式野球部この１年

光星高校硬式野球部　監督　仲井　宗基

平成三十年度の硬式野球部は好成績を残すことができました。はじめに、春・夏・秋の青森県大会すべてにおいて優勝を飾り、望んでいたとおり、第１００回全国高等学校野球選手権記念大会に出場を決めることができました。この選手権大会では初戦の明石商業高校に延長戦の末勝利することができましたが、次戦の龍谷大学平安高校には序盤から引き離され大差を喫し、散々たる結果で敗退しました。２回戦を突破できないという壁を感じつつも、克服すべき課題をたくさん持ち帰ることになりました。

新チームの始動が他のチームより遅れを取る中、更に不利な状況が続きました。私自身が高校日本代表ヘッドコーチとして招集され、監督不在という状況下でスタートしました。それでも、夏の大会に下級生ながら出場していた選手が多数いたため、練習試合や公式戦を重ねるに連れて、徐々にチームとして形になっていきました。県大会・東北大会と勝ち進み、不利な状況であったにもかかわらず、優勝することができました。とても素直な性格の選手が集まり、試合を重ねる度に選手との一体感を覚えました。迎えた第49回明治神宮大会では全国のレベルを肌で感じることができ、自分たちの力はまだまだであるということを実感したと同時に、もう少しで全国の頂点が掴めるということにも築くことができました。

全国から甲子園を目指して光星高校に集まり、寮生活や学校生活を共に送って、毎日の厳しい練習に取り組んでいる彼等は、とても誇りに思えます。彼等の夢は、学校の夢でもあります。この夢を実現させるためにも、学校から、生徒から、地域から応援されるような野球部で有り続けたいと考えています。

１月25日に第91回選抜高等学校野球大会の出場が決定しました。選抜は10回目の出場で、平成最後のセンバツという節目の年です。東北、青森が全国制覇を逃し続けてきた歴史にピリオドを打ちたいと思います。

どうぞ今後とも温かなご声援・ご協力の程、宜しくお願いいたします。

応援よろしくお願いします！

第91回選抜高等学校野球大会

３年ぶり10回目の出場

・組合せ抽選会　３月15日（金）

・大会日程　３月23日（土）開幕

短　大　デーリー東北新聞社「私の天鐘」入賞

デーリー東北新聞社が募集した第４回「コラムに挑戦『私の天鐘』八学短大部の立花夢歌（ライフ２年）さんが佳作に入賞しました。

立花夢歌さん

光星高　青森県高校新人バスケットボール大会　男子優勝・女子準優勝 東北大会出場

平成30年度青森県高校新人バスケットボール決勝大会にて男子が優勝、女子が準優勝を果たし、秋田県で開催された第29回東北高校男女新人バスケットボール選手権大会に出場しました。結果、男女共に予選リーグ突破とはなりませんでしたが、今後に繋がる大会となりました。

県高校新人バスケットボール大会で優勝した男子バスケ部

野西高　第97回全国高校サッカー選手権青森予選会 [11/17]

～優勝までもう一歩の大熱戦～

当日は気温が低く寒い中での試合ではありましたが、全国大会出場をかけての熱い戦いを繰り広げました。

前年度優勝校の青森山田高校との対戦は前半２分、青森山田高に一点を取られ苦しい展開が続きましたが、０対１で前半を終了。後半も劣勢のまま進みましたが、後半20分、２年の工藤拓人君（浦町中出身）が相手のわずかなスキを突いて同点ゴールを決めました。両チームともに一点を争う緊迫の戦いが続きましたが、終了間際の後半34分、青森山田高にゴールを決められ、１対２。最後まで粘り強く戦いましたが、惜しくも敗戦。

準優勝という悔しい結果になりましたが、高校日本一の強豪校から一点を奪い、接戦を繰り広げることができたことは誇りにできる素晴らしい試合であったと思います。

選手からは「自分たちのベストは尽くしたが、勝てなくて悔しい」や「来年こそは絶対優勝できるよう、練習を頑張りたい」などの感想・決意が聞かれました。

来年こそは優勝を勝ち取りたいと思います。応援、ご支援に心から感謝申し上げます。

専攻科　自動車科校外実習 [10/29～11/9]

自動車科の１年生が各自動車事業所において校外実習を行いました。学生一人ひとりが自己の将来の就職を見据え実習先を決定します。実習を体験した学生達からは、就職に何が必要なのかを具体的に知ることができた。自動車の最新技術や整備方法を体得できた。仕事に対する取り組む厳しさを体験できた。などが挙げられました。今回の校外実習での体験を今後の学校生活に活かし、更にプロとしての専門知識を深め実社会において活躍することを期待しています。

ご協力いただきました各事業所の皆様方には、心よりお礼申し上げます。

専攻科　介護実習学内反省会 [11/14]

介護福祉科において介護実習学内反省会を開催し、１年生10名が、介護実習の学びを報告しました。介護実習は９月～10月にかけて17日間、通所介護、訪問介護、障がい者支援施設、グループホーム、小規模多機能型居宅介護などで実施しています。「実習指導者の指導のもと、体験させて頂いた技術について、根拠を踏まえて発表することによって学びを更に深める機会となりました。」ご支援ご協力いただきました各事業所の皆様、ご来校頂き助言を下さった実習指導者の皆様に深く感謝申し上げます。

八戸学院３幼稚園
マスコットキャラ
ステラが行く
vol.3

八戸学院聖アンナ幼稚園
こころとからだのつながり
～幸せいっぱいの幼児期のために～

その手を握り体に触れていたそうです。その方たちの心と体はどんなに救われたことでしょう。皮膚はむき出しの脳とも言われるほど、心と密接に繋がっており、乳幼児期に愛情を込めてしっかりと触れられると、自分の体はここ(頭)からここ(つま先)までまであるのだという固有感覚が養われ、自分は全身まるごと愛されているということを実感できるようにもなります。

スキンシップが不足すると攻撃的になったり、愛着形成にも不具合が生じます。大人になってからの問題行動や犯罪などの原因も幼少期に不適切なかかわりをされたり、さみしい思いをしてトラウマが重なった結果そうなってしまった為であって、はじめはみんな同じ子どもだったのです。もしも早い段階で心と体をケアしていたとしたら、そのような悲しい目に遭うこともなかったのかもしれません。

近年、日本ではスマホ育児やマルトリートメント（虐待や不適切なかかわり）などの増加に伴い、子どもの心と体のケアの必要性が見直されるようになりました。子供が求めている時、その子にとって必要な分の愛情の込もったタッチが与えられることで、そのようなトラウマをも癒すことができる効果があると言われています。

聖アンナ幼稚園では親子向けのベビーマッサージクラス（0～24か月）、親子でタッチケア（満2歳～小学生まで）のほか、保育の中で自由に参加できるタッチケア（こども同士で背中に行うキッズインコンタクトや感覚統合のワークなど）も行っています。

タッチをするときはみんな平等であること、互いの気持ちを尊重しながら行うこと、選ぶ自由があることなどモンテッソーリ教育につながる部分もたくさんあります。

タッチを通じて家族、そして子どもたちの絆が深まり、幸せいっぱいの幼児期を過ごせることを願いながらこれからも活動を続けていきたいと思います。

タッチは週2回ほど一つの部屋を開放して行っていますが、やりたい人がやりたいときに参加します。時には見ているだけという人もいますが、気がつくと参加していることもあります。触れ方、触れてほしい部位、圧のかけ方などもそれぞれ好みがちがいますので、相手に聞きながら行います。どうしたら心地良いだろう?と考えながら心を込めて触れると、その気持ちが伝わり心と体が温かくなります。

新１年生応援！
親子 de タッチケア
日　時：平成31年３月24日
　　10:00～11:00
※終了後30分ほどティータイム
場　所：南部山健康運動センター
対　象：年長児～小学生と保護者
参加費：無料
持ち物：クレヨン、クーピーなど

ステラ・フォーカス

八戸学院第二しののめ幼稚園
造形教室

八戸学院大学短期大学部、池田拓馬先生の造形教室が行われた。子ども達は机に準備された材料を見つめ、何を作るのかと期待を膨らませ、活動が始まった。まず、底が半透明になっているティシュの空き箱に、白と銀色の細長い紙を輪っかやハートや星型にして敷き詰めた。そこにカラーセロハンで蓋をして「光の箱」が完成した。子ども達は「うみのひかり」や「やさしいひかり」と名前を付けて、電気や太陽の光を箱いっぱいに取り込み、「綺麗だね」と目を輝かせていた。最後に部屋を暗くし全員の箱を積み重ね、後ろから光を照らすとステンドグラスの様な綺麗な光と歓喜の声で溢れていた。

八戸学院幼稚園
学年交流会
～年長から年中へバトンタッチ～

もうすぐ卒園を迎える年長組が、年中組と交流会を行いました。運動会で毎年恒例となっている年長組の「組体操」のポーズのひとつひとつを、手取り足取り真剣に、継承しました。組体操に憧れを抱いている年中組は、体を支える力やバランスに四苦八苦しながらも集中して取り組み、「楽しかった」と目を輝かせていました。また、年長組は、手を添え完成形の感覚を伝えたり、対面で左右対称の動きをしたりと、年長らしい思考と動きで教え、しっかりと引き継がれました。

八戸学院聖アンナ幼稚園
小学校へ出掛けたよ！

柏崎小学校へ出かけ、授業体験をしてきました。昨年度の卒園児に案内され、一年生の教室へ。始めは緊張した様子の子どもたちでしたが、小学生の皆さんと少しずつ打ち解けていました。お手本を見ながら「気をつけ」・「返事」の練習や、「か」で始まることば探しをして楽しみました。教室では園児が実際に席に座り、真剣に先生や小学生の話を聞く様子が見られました。授業の雰囲気を体験できてとても嬉しそうな表情でした。憧れの小学生まであと少し！

図書空間　vol.06

展示のチカラ

展示の意義について

図書館と展示は切っても切れない関係にあります。図書館で行われる展示は、図書などの資料を館内のスペースに面陳列で並べ、利用者に展示のテーマへの関心を喚起させるほか、所蔵するたくさんの資料を利用させることを目的とします。

展示は、図書館や大学の社会への広報や地域貢献としても重要な役割を担い、「ビブリオバトル」など図書館イベントと組み合わせることによって、集客や読書を推進するためのより有効な手段にもなります。利用者にとっては、データベースだけでは辿り着くことができない本との出会いを演出されるほか、さらなる情報を求める気持ちを触発させるなど、本の貸し出しという最終目的に至るプロセスとなっています。

展示実施によるスタッフへの効果

展示する図書を選ぶ作業は、図書館スタッフが日常的に行っている図書の分類とは異なる作業で、展示テーマの属性によって図書を従来とは違うかたちに類化してゆく作業にります。これは図書館業務の本質的ではなく二次的な仕事とみなされる傾向にあり、スタッフに過剰な負担がかかる可能性があることから他の業務と比較して優先度が低くなっているのが現状です。しかしながら重要度は決して低くはなく、主要業務として取り組む必要があると思います。

展示を行うときにもっとも重要となるのがテーマの明確化と展示する本の選定で、利用者である学生がどんな本に反応してくれるのか、こんなテーマだったら本に興味を示してくれるのかなどを考えることは、スタッフとしてやりがいがあるし、モチベーションを上げることにもなります。魅力的な展示になるように企画していくことは、図書館員の企画力・専門知識・解説力を養われていく効果があります。

八戸学院図書館の展示

本館で展示企画を実施したのは、読書のバロメーターとして位置づけた小説の館外貸出冊数が、２０１３年の年間でおよそ１００点と少ない状況でした。その打開策として芥川賞や本屋大賞などの人気小説の展示が有効と考え、１階入り口付近に展示コーナーを設置し、その年の本屋大賞ノミネート10作品を入荷して展示を実施しました。それにより、来館する利用者の足が止まり、目的が本を借りることでなかった学生も本に興味を示してくれるようになり、２０１７年に小説の貸出が７００点を超える結果になりました。

本館の展示コーナーは、あるテーマを決めて本を展示する「特設展示コーナー」、新着や新刊本など、その時に旬である本を並べる「旬なコーナー」、分野別に図書館スタッフが選定した「読書案内コーナー」、図書館スタッフが一冊の本を書評して展示する「ハチリブ＋αコーナー」があり、時事性の強いものからエンタメ系までいい具合に調和が取れた空間になりました。特に特設展示コーナーでは、未曾有の大災害を風化させてはならないという思いから東日本大震災特集「キロクをキオクに」を毎年実施しています。他には「映画・ドラマ原作本特集」、「アスリート・指導者の世界」「戦時中・戦後を生きてきた人たち」「世界の名作文学特集」などを展示し、多大な反響をいただきました。また２０１８年には八戸工業大学図書館と所蔵しているそれぞれ違う分野の図書30冊程を交換し、それぞれの図書館で利用者が自由に閲覧できるようにする交換展示を試み好評を得ました。様々な展示企画により利用者に多少なりとも「図書館の展示はおもしろい」という印象を与えることができたのであれば、魅力ある図書館づくりの目標に一歩前進したと思います。

展示による気づき

展示企画を実施したことにより気づいたことがあります。図書館がもっている大きな資源はスペースであること。「良い本に触れて欲しい」「図書館に足を運んで欲しい」という思いを込め企画した展示は人を動かすことができること。スペースを有効活用したことや様々なテーマで展示を実施したことで、入館者数と資料の貸出点数の増加や親しみやすい図書館になったという評価など、本学図書館を取り巻く周囲の目には確実に変化が起こったように感じます。今後も魅力的な展示を通じて、より親しみやすく訪れたくなる図書館づくりを目指して行きたいと考えます。

理事長散策

法官新一
Shinichi Hogan

入国管理法に思う

去年の師走、世の中が年の瀬を迎え慌ただしい最中、入国管理法が無理矢理国会で可決された。これについて後日、大島議長の談話が掲載されたが、与党の数に勝るやり方は民主主義の根幹を揺るがすものというコメントであった。野党の議員が猛反発する中、時間切れのような法案可決で拙速感は否めない。大島議長は我が町選出の国会議員で自由民主党の重鎮である。その大島議長のコメントに同感である。

このことについて、一考してみたい。

今我が法人では、フィリピンはじめ海外からの留学生受け入れ事業を進展させるべく活動している。すでに介護士需要に応えるべく、介護施設運営者の理解を得ながらフィリピンからの受け入れ事業に着手したところである。実際には2年後の本格的な受け入れを前提に準備を進めていたところ、今回の入管法が水を差した。というのは、今回の法制度により国内需要に会わせて受け入れ事業が簡易（安易）に進められることになり、十分な教育や業種のスキルがなくても従事できる環境になるということだ。果たして、それで外国人労働者が日本社会に溶け込んでいけるのだろうか。郷に入っては郷に従えではないが、その国の文化や歴史や大事な日本固有の生活環境を理解した方が、より良く日本社会に馴染めると思うし受け入れやすいと思うのだ。日本で生活する上で、日本語の何級かを取得すれば良いという、単純なことではないと思う。

日本の社会が人口減少に悩み、勢い外国人の力に頼るところにあるが、やはり日本で生活するということは、日本人になるという意味にもなる。地理的条件や風土が違うところには、その特有の生活や生き方や考え方がある。ややもすると、人と人の心のつながりが全てを解決するという考えもあるかもしれないが、少なくとも学ぶ時間は必要であろう。日本社会の一員として生きていく上で、キャリアとルールや多少の慣習を身につけるための教育は必要であろう。学校の存在はそれを受け負い、しっかりと役割を担っている。

手前のこととして考えると、来年度開設の短期大学部介護福祉学科は、フィリピンはじめ外国人労働者が福祉施設で働くためのスキルや日本のことを学ぶためのものであった。介護士不足に悩む福祉施設は、日本の学校の高い授業料の一部を負担することで、外国人労働者が日本で学ぶ環境を整え、留学生が安心して、介護や看護そして健康といった知識や資格取得ができるよう本学がその役割を果たそうと考えた。さらには、日本語はもちろん伝統文化、慣習や道徳やルールやマナーに至るまで、日本の社会で通用する人材育成をめざす考えである。

ところが、今回の入管法は明らかにこうした方向にはない。日本の企業や施設が必要としている人数を受け入れるような解釈が、より一層課題を生み出している。要はこの入管法には、教育の関わりが薄いことが問題なのである。こうした短絡的な受け入れで、果たして外国人労働者がスムーズに日本社会に溶け込んで仕事に従事することが出来るのでしょうか。しっかりした教育を受け、国家資格を持った外国人従事者が育成されるような体制が理想とされるべきではないでしょうか。この度の外国人受け入れについて、学校教育が疎かにされている感じがしてが残念至極だ。

光星学院イノベーションプログラム（基金）

平成29年度 寄付受理ご報告

（平成29年4月～平成30年3月末）

次の方々よりご寄付を賜りました。
皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。

寄付金額

95,389,232円

平成19年度以降寄付金累計額　512,102,202円

▼平成29年度の支出内容

■教育研究費補助
■創立60周年記念事業
■八戸学院幼稚園園舎新築返済補助
■国際交流補助
■室内練習場維持費
■キャンパス内建物・施設改修等補助他

医療法人はらだクリニック 様
株式会社デーリー東北新聞社 様
株式会社古川建装 様
株式会社泉山石材 様
株式会社大山建工 様
株式会社福萬組 様
吉田産業協同組合 様
三八五流通株式会社 様
有限会社ジークゼネラル 様
六戸中央印刷 様
八戸学院大学 父母の会 様
八戸学院大学 同窓会 様
八戸学院大学 後援会 様
八戸学院大学短期大学部 父母の会 様
八戸学院大学短期大学部 後援会 様
八戸学院光星高等学校 PTA 様
八戸学院野辺地西高等学校 PTA 様
八戸学院野辺地西高等学校 同窓会 様
八戸学院野辺地西高等学校 後援会 様

大平 正国 様
仲村 昌子 様
松原 勝乗 様
潘 慶順 様
浦田 隆 様
畑山 俊輝 様
村井 久子 様
古里 伸彦 様

法官 新一 様
古川 聡 様
中野 陸奥 様
法官 廣子 様
大沢 泉 様
丹羽 浩正 様
玉樹 真一郎 様
根城 隆幸 様

鈴木 俊裕 様
田中 哲 様
鶴見 浩一郎 様
坂本 貴博 様
バリー・グロスマン 様
奈良 卓 様
柴垣 博孝 様
藤代 典子 様
グレゴリー・アンソニー 様
田村 正文 様
川村 広志 様
田頭 寛 様
岩本 寿生 様
工藤 美那子 様
戸舘 勉 様
新沼舘 貴志 様
山下 祐史 様
金田一 春香 様
高屋敷 好孝 様
坂野 仁志 様
小川 啓示 様
宿野部 昭裕 様
遠藤 守人 様
瀧澤 透 様
吉田 稔 様
小林 喜輝 様
熊谷 晶子 様
小澤 昭夫 様

関川 幸子 様
木鎌 耕一郎 様
浜中 のり子 様
佐藤 千恵子 様
金地 美知彦 様
高嶋 渉 様
渡邉 陵由 様
山本 雄大 様
小柳 達也 様
綿谷 貴志 様
工藤 祐太郎 様
宮澤 君子 様
嶋崎 綾乃 様
松山 政義 様
織戸 浩 様
正村 公弘 様
吉田 尊徳 様
柳沢 里美 様
早川 幸久 様
玉川 恵里 様
安田 久美子 様
加藤 智恵 様
佐藤 裕次 様
畑中 孝太 様
原子内 まさ子 様
畠山 文絵 様
河村 千代美 様
蛭田 由美 様

木村 紀美 様
髙橋 正知 様
髙橋 雪子 様
田中 克枝 様
壬生 寿子 様
小沢 久美子 様
下川原 久子 様
坂本 保子 様
山野内 靖子 様
田名部 麻野 様
木村 緑 様
市川 裕美子 様
坂本 弘子 様
切明 美保子 様
佐藤 真由美 様
三浦 広美 様
藤邉 祐子 様
古舘 美喜子 様
久保 宣子 様
清塚 智明 様
佐々木 真湖 様
日當 ひとみ 様
岩浪 始由 様
納谷 司 様
加藤 俊一 様
岡沼 真由美 様
伊藤 瞳 様
橘 勇佑 様

蛯沢 眞子 様
村本 卓 様
長谷川 美千留 様
髙須 則行 様
崔 桓碩 様
千田 建一 様
高橋 正行 様
三田 和典 様
出町 望 様
杉山 幸子 様
附田 勢津子 様
田端 利則 様
吹越 義博 様
田中 敬一 様
加藤 勝弘 様
加藤 康子 様
天摩 雅和 様
小川 あゆみ 様
差波 直樹 様
中嶋 栄子 様
佐貫 巧 様
池田 拓馬 様
安田 美央 様
髙坂 郁子 様
藤原 真史 様
村﨑 匡裕 様
村本 景 様
金入 教人 様

小林 嗣子 様
石橋 鈴香 様
船場 亜希 様
橘 佳奈美 様
茂木 典子 様
大久保 等 様
三浦 文恵 様
馬場 祥次 様
高橋 昌樹 様
中村 富美夫 様
小野﨑 龍一 様
小野寺 實 様
中村 良寛 様
岩舘 精一 様
類家 和以 様
門馬 修 様
小泉 順一 様
吉田 正幸 様
舘 長作 様
松橋 純悦 様
早川 公男 様
蒔苗 裕司 様
小野 千賀子 様
横濱 涼子 様
石田 功 様
横浜 学 様
高橋 亨 様
西村 裕行 様

蛯名 淳子 様
山岸 徳貴 様
仲井 宗基 様
太田 かおり 様
坂本 美有紀 様
下田 香織 様
赤間 俊勝 様
清水 利憲 様
五十嵐 敬彦 様
附田 憲勇 様
池川 亮 様
池川 智子 様
小坂 貫志 様
金渕 清文 様
川村 秀策 様
若林 優之 様
戸部 佳子 様
仲安 麻衣子 様
江戸 翠 様
三戸 祐介 様
中村 智美 様
土岐 瑶子 様
下山 愛 様
野田 ちひろ 様
津田 勇志 様
佐々木 彰彦 様
野坂 華子 様
菅谷 有里子 様

吉田 瑞輝 様
助川 美千子 様
安部 恒俊 様
岩間 達希 様
市川 裕之 様
岩井 力也 様
石垣 隆三 様
上明戸 良春 様
木村 正則 様
東出 実 様
佐藤 基治 様
坂本 悟一 様
小濱 巧聖 様
浜 章夫 様
中居 渉 様
佐藤 嘉孝 様
小沢 華生 様
楢舘 裕子 様
齋藤 弘実 様
武田 源三郎 様
村上 省二 様
岩舘 亜沙美 様
平田 直子 様
鈴木 絵美 様
早川 育子 様
橋場 保人 様
迫 祐子 様
長澤 秀樹 様

苫米地 高志 様
島田 博美 様
山内 出 様
鳥谷部 寛明 様
簱谷 寿逸 様
成田 富美仁 様
大沼 暢 様
三上 晃 様
濵中 和宏 様
金田 浩季 様
川村 将人 様
前田 夏実 様
工藤 蓮 様
寺嶋 恭祐 様
若狭 孝弘 様
小坂 保 様
大関 武仁 様
柴崎 典子 様
道合 康子 様
岩舘 由香里 様
河原木 祥子 様
鶴飼 由希 様
下﨑 沙野 様
成澤 友信 様
佐藤 浩子 様
小泉 雅生 様
中山 千敬 様
澤谷 知栄美 様

高村 友希 様
三國 夏子 様
山田 奈穂子 様
小栗 千明 様
曽我 めぐみ 様
松浦 希晴 様
山西 幸子 様
吉田 ひろみ 様
長島 はる香 様
佐々木 佑花 様
奥谷 侑加 様
北村 圭 様
滝田 いと子 様
東出 まさえ 様
鈴木 芽久美 様
久保 深雪 様
赤羽 卓朗 様
沼岡 裕一 様
山本 徹 様
足澤 和浩 様
奥谷 綾 様
島守 寿明 様
樺 克裕 様
大谷 真樹 様
中居 裕 様
猪股 清美 様
小松 良重 様
熊谷 大輔 様

外崎 充子 様
川端 悠 様
三村 弥生 様
松井 一文 様
佐々木 良幸 様
小松 知子 様
玉懸 多恵子 様
小笠原 陽子 様
宮古 博文 様
鈴木 あず沙 様
西野 真理子 様
中居 千世 様

浜口 敦子 様
葛西 悠太 様
石澤 幸恵 様
城前 未来 様
川口 京香 様
平川 貴也 様
村上 莉香子 様

（順不同）

光星学院への寄付のお願い

本学院では教育環境刷新（教育環境整備・教育改革・教育支援等）を目的として、寄付のご協力をお願いしております。

詳細はホームページ（http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/）をご覧いただくか、総務部（TEL.0178-30-1411）までお問い合わせください。

※本学院に対する寄付金は、個人または法人の「税制上の優遇措置」を受けられる場合があります。

八戸学院第二しののめ幼稚園

うさぎのミミちゃん

第二しののめ幼稚園のみんなで飼っているうさぎのミミちゃん。入園したばかりの年少さんにお世話の仕方を教えてあげるのは年長さんの約目です。ミミちゃんの好物は園庭で園児たちが摘んできたクローバー。暖かい日には、こども達と園庭で遊ぶこともあり、リードをつけて散歩するミミちゃんの周りには、笑顔の園児でいっぱいです。

寒さに弱いミミちゃんは冬場が苦手です。冬が終わり、再びこども達と園庭で遊べる日を心待ちにしているミミちゃんでした。

八戸学院第二しののめ幼稚園

HACHINOHE GAKUIN | CAMPUS八戸学院 vol.51
【発行日】平成31年2月28日【発行】学校法人光星学院 〒031-8544青森県八戸市美保野13-98 TEL.0178-30-1411(代表) FAX.0178-30-1422